

音楽ビジネス研究科シラバス

科目名	コンピューター研究演習(アレンジ実技)	担当教員名	小林 哲	
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	歌モノ、CM 劇伴、企業案件での編曲採用。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際のクライアントからの発注内容を基に、実際の制作過程をシミュレートし対応力を身に付ける。 完パケ納品にも対応出来るサウンドクオリティーを得るための技術の習得。 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。			
日程	授業形態	内容		
1	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／リハモニゼーション 1(Diatonic Chords の応用)		
2	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／リハモニゼーション 2(Secondary Dominant の応用)		
3	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／リハモニゼーション 3(SDm の応用)		
4	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／リハモニゼーション 4(Tension の応用)		
5	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／実践編スタンダードナンバー、カバーバージョン制作 1		
6	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／実践編スタンダードナンバー、カバーバージョン制作 2		
7	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／Voicing 1(4度和音の応用 1)		
8	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／Voicing 2(4度和音の応用 2)		
9	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／Voicing 3(Upper Structure Triad の応用 1)		
10	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／Voicing 4(Upper Structure Triad の応用 2)		
11	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／転調 1(近親調へのアプローチ)		
12	演習	CM、カバー曲、歌モノ対応／転調 2(遠隔調へのアプローチ)		
13	演習	企業課題対策／オーダーに従ってのアレンジアプローチ		
14	演習	コンピューターミュージックワークショップ 課題への取り組み		
15	演習	コンピューターミュージックワークショップ 課題への取り組み		
準備学習 時間外学習	自曲のアレンジだけでなく、他の作家のアレンジにチャレンジする。コードワークの徹底的な見直し。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	即戦力として活躍する為に必要な知識とスキルを身に付ける為の科目です。 真剣に取り組んで下さい。			

音楽ビジネス研究科シラバス

科目名	コンピューター研究演習(アレンジ実技)	担当教員名	小林 哲	
時間数	60(4単位)	必修・選択	配当年次	前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	歌モノ、CM、劇伴、企業案件での編曲採用。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際のクライアントからの発注内容を基に、実際の制作過程をシミュレートし対応力を身に付ける。 完パケ納品にも対応出来るサウンドクオリティーを得るための技術の習得。 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。			
日程	授業形態	内容		
1	演習	転調の実例集、実習課題		
2	演習	コードアプローチから考察されるプロの技実例集、実習課題		
3	演習	コードアプローチから考察されるプロの技実例集、実習課題		
4	演習	コードアプローチから考察されるプロの技実例集、実習課題		
5	演習	コードアプローチから考察されるプロの技実例集、実習課題		
6	演習	コードアプローチから考察されるプロの技実例集、実習課題		
7	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 1、実習課題		
8	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 2、実習課題		
9	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 3、実習課題		
10	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 4、実習課題		
11	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 5、実習課題		
12	演習	製品レベルで使えるブラス打ち込みテクニック 6、実習課題		
13	演習	オーダーに従ってのアレンジアプローチ、実習課題		
14	演習	コンピューターミュージックワークショップ 課題への取り組み		
15	演習	コンピューターミュージックワークショップ 課題への取り組み		
準備学習 時間外学習	自曲のアレンジだけでなく、他の作家のアレンジにチャレンジする。コードワークの徹底的な見直し。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	即戦力として活躍する為に必要な知識とスキルを身に付ける為の科目です。 真剣に取り組んで下さい。			